

もりおか復興応援フリーマガジン

Stitch

[ステッチ]

vol.03
2012.3



あれから1年

- 02 いわて復興へのあゆみ
- 04 「陸前高田 うごく七夕まつり」の復活
- 06 みんなの気持ち 復興メッセージ30
- 08 僕らの活動便り [プチミュ!/FC釜石]
- 09 [特別寄稿] 斎藤 純
- 10 100人アンケート 復興をどう見てる?
- 11 災害時への心得 [日常の備え編]
- 12 つながる医療・支える医療
- 14 [避難者のみなさまへ] 生活支援情報
[避難者のみなさまへ] もりおか復興支援センター

あれから1年。

ここからはじまる

東日本大震災発生から1年。

これはきっと「あの年」として記憶される時間。

いま、この1年間を振り返り、

ここから始まる未来へと、記憶と絆をつないでいく。

[表紙写真]
岩手県立美術館
『「ユメノマチ」ができるまで』
作品展示

東日本大震災後、沿岸地域の子どもたちを中心とした多くの人たちが、カラフルな積み木で創作した作品を一堂に集めた「ユメノマチ」。

ボランティア手作りの積み木を使って、沿岸地域の子どもたちが作品を作る活動からスタートし、現在では「誰でもアートを楽しめるワークショップ」として特設ブースが開設され、これまでに2000人以上が参加しています。

展示期間／～2012年3月25日
※4月以降県内外の希望施設へ作品を貸し出し
問い合わせ／岩手県立美術館
019-658-1711

いわて復興へのあゆみ

2011年

3・11	東日本大震災発生 マグニチュード9・0
3・11	宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底を震源として発生
3・11	東京電力福島第一原子力発電所で事故
3・11	岩手県災害ボランティアセンター開設
3・16	県内各地でボランティア派遣開始
3・16	被災県のガソリン不足深刻化
3・19	岩手県内各地で仮設住宅建設着手
3・25	盛岡市災害ボランティアセンター開設
3・25	東北道の規制全面解除
3・28	遠野市で遠野まごころネット開所
4・7	M7・4の地震発生 大船渡市・釜石市で震度6弱を観測(盛岡5強)
4・9	NTT回線による市外通話の全面復旧
4・9	東北新幹線全線再開
4・9	岩手県、いわての学び希望基金受付開始
4・9	大槌町に仮庁舎完成
4・11	盛岡市で遠野まごころネット開所
4・29	岩手県、いわての学び希望基金受付開始
5・11	盛岡市などで高速道路無料通行に必要な被災証明書を発行
6・20	陸前高田市の断水解消。震災から108日目
7・1	国が3年ぶりに電力使用制限令を発動
7・3	野田村で仮設住宅全戸完成。避難所全て閉鎖
7・6	盛岡市かわいキャンプ開所
7・6	田野畠村で仮設住宅人居完了。避難所全て閉鎖
7・11	岩手県内の断水すべて解消
7・13	岩手県内の陸上自衛隊撤収
7・20	久慈、宮古、釜石、大船渡の4地域に被災者相談支援センターを設置
7・28	岩手県震災孤児に奨学金の支給を決定
8・5	釜石市・宮古市の公共施設を利用した避難所すべて閉鎖
8・6	釜石市平田に店舗や福祉機能を持つ仮設団地誕生
8・10	釜石市に店舗群「復興天神15商店街」誕生

2012年

3・11	釜石市に仮設店舗群「復興天神15商店街」すべて完成
2・10	大船渡「復興さんま直送便」第一便発送
1・17	岩泉町小本、共同仮設店舗「みらいにむけて商店街」オープン
1・14	盛岡市「がんばれ福島っ子！オータムキャンプin盛岡広域」開催
1・12	宮古市中里団地避難所を最後に県内避難所すべて閉鎖
1・9	岩手県内の漁港周辺の海中がれき撤去完了
1・7	10・7 東京都、宮古市のがれき1万1千トンを処理受入れ開始
12・27	11・11 三陸鉄道、復旧工事開始
12・13	11・11 釜石市に北海道厚岸町からマガキの種苗約50万粒が届く
12・11	11・11 盛岡市、沿岸市町村の災害廃棄物を受け入れ・焼却処理開始
12・8	11・25 盛岡市「もりおか復興支援ネットワーク」設立
12・6	11・25 山田町で盛岡市などによる被災地支援施設工コハウス完成式典
12・5	11・25 釜石市と大槌町 仮設商店街が誕生
12・5	12・5 盛岡市「もりおか復興支援ネットワーク」設立
12・8	12・8 山田町で盛岡市などによる被災地支援施設工コハウス完成式典
12・6	12・11 秋田県、震災がれき受け入れへ
12・5	12・11 宮古市に仮設田老診療所が完成 国境なき医師団が支援
12・3	12・13 山田町に無料の仮設浴場オープン
12・1	12・13 大槌町で盛岡市などによる被災地支援施設工コハウス完成式典
11・25	12・13 山田町に無料の仮設浴場オープン
11・25	12・13 大槌町漁協が解散決定。年度内に新組合設立予定
11・25	12・13 宮古市の重茂漁協、早採りワカメ「春いちばん」出荷
11・25	12・13 復興庁発足。看板は陸前高田の高田松原のマツを使用
11・25	12・13 盛岡市で東日本大震災一周年行事「復興への誓い」を開催
11・25	12・13 東日本大震災から1年

「陸前高田うごく七夕まつり」の復活



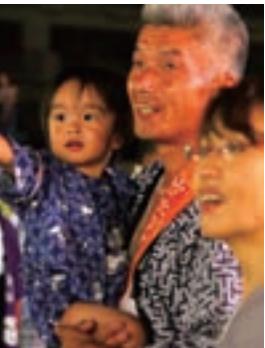
今年も、楽しい祭りの
思い出をつくりたい

「津波でつらい目にあつたけど、
祭りという楽しい思い出もできた。
そんなふうに2011年を振り返る
ことができよかったです。悲しい
ことだけの1年にはしたくなかった
から」

そう話してくれた「陸前高田うご
く七夕まつり」実行委員会事務局長
の福田紀雄さん。その言葉には、「祭
り復活」に奔走した日々への思いが
集約されていました。

2011年8月6日、7日の2日
間。がれきが片付けられ、何にもな
くなった「かつてのまち」に、にぎ
やかな音、鮮やかな色、そして笑顔
が戻りました。威勢のいいかけ声や
太鼓の音を響かせながら、力強く進
む華やかな山車。陸前高田市高田町
に伝わる伝統行事「陸前高田うごく
七夕まつり」のパレードです。店舗
や住宅が立ち並ぶ市街地だった高田





町。毎年8月7日に開催されるこのお祭りは、この地域で生まれ育つた人たちにとつて、春に桜が咲くのと同じように「あたりまえ」で、楽しんで、大切なものでした。

しかし、2011年3月11日。陸前高田を容赦なく襲った津波は、「あたりまえ」だったすべてをさらつたりました。風光明媚な高田松原の松林を根こそぎ奪いさり、市内平野さんはぎりぎりのところで難を逃れました。

家も仕事場も失い、その日を生きることで精一杯の日々。そんなある日、福田さんはがれきの中から祭りのはつびを見つけました。普段道具を保管していたのは全く別の場所。それなのに、こうして目の前にあらわれたことを「何かの啓示のように思つた」と、振り返ります。さらに福田さんを突き動かしたのは、避難所でのできごと。みんなで前年の祭りのDVDを観ていたとき、集まつた子どもたちが福田さんにこう訊ねたといいます。

「今年はいつやるの?」
この子たちに、今年も楽しい祭りの思い出をつくつてやりたい。福田さんは祭り仲間たちに声をかけ、実行委員会を結成。祭り復活に向かって動きだしました。

**「祭り復活」で
広がる支援つながる絆**

「今年も祭りをやる」。そう決意し

た福田さんたち実行委員会。しかし多くの人が家族や家、仕事を失つたという現状のなか「祭りなんかしていいのか」という声もありました。

「私も母を亡くしましたし、実行委員メンバーも全員、身内を失つています。この祭りはもともと死者を弔うために始まったもの。だから、鎮魂という意味でも復活させたかった。いつも通り、にぎやかに祭りをおこなうことで、亡くなつた人の供養になればと思いました」

とはいえ、祭りの道具や山車のほとんどが流出。資金もありません。そこで福田さんは、インターネットなどで広く支援を呼びかける一方、テレビや新聞の取材依頼にも応じ、「祭り復活」への思いを訴えました。その反響は大きく、実行委員会のもとに全国から続々と支援が集まります。「応援しています」「逆に元気をもらいました」という言葉とともに「うごく七夕」だけではなく「けんか七夕」や「海上七夕」といった市内のほかのお祭りとも一緒にになって、陸前高田を盛り上げたい、と考えているぞ

「大好きなまち」に戻すことが自分たち大人の仕事

祭りの成功をきっかけに、まちの活気を取り戻したい。「やっぱりこのまちが好きだ」とみんなが思つてくれる場所にしたい。そのための「次のアクション」として、新しい企画の打ち合わせや、地元の若者を「明日のリーダー」に育てる取り組み、今年の祭りの準備と大忙しの福田さん。現在は仮設住宅に奥様と一緒にいたガソリンスタンドも仮設ながら再開。その仕事の合間に縫つて、市内はもちろん、盛岡遠くは東京まで打ち合わせに出かけます。

「地域のために、というより、自らのためなんです。いくら陸前高田が好きで『ここで暮らしたい』と思つても、ほかに誰もいなかつたら意味がない。自分にとつても『いい場所』は、みんなにとつても『いい場所』でないと



福田紀雄さん

うごく七夕まつりの公式HP
<http://www.rikuzentakata.tv/>

祭りの前の、あのわくわくする気持ちは広がつていきました。

いよいよ迎えた祭り当日。更地になつたまちに、練りあるく5台の鮮やかな山車と共に、お囃子の練習：悲しみと不安でいっぱいの心に、

たくさんの支援をもらつても、復興させるのは地元の人間。特に、まちの未来を担う若者たち、子どもたちには「ここに生まれてよかつた」「これからもここで生きていく」と思つてほしい、と福田さん。そのためにも楽しいこと、わくわくすることをたくさんつくりたいんです、と話します。

そのひとつが、「うごく七夕まつり」オランダ公演。オランダ日本大使館から招聘状が届き、3月下旬にオランダでお囃子を演奏することが決ました。さらに今後は「うごく七夕」だけでなく「けんか七夕」や「海上七夕」といった市内のほかのお祭りとも一緒にになって、陸前高田を盛り上げたい、と考えているぞ

「地域再生のために、自分たちがするべきこと、必要なものは何か。そのことを、これからもきちんと発信し、賛同してくれるひとりひとりとのつながりを大事にしていきたい」と、これからも勢力的に活動していく決意をみせた福田さん。忙しい日々は、まだまだ続きそうです。

「みんなの気持ち」 復興メッセージ30

三陸
から

赤武酒造株 古館秀峰さん [ふるだて・ひでのぶ]



- ①震災後、盛岡で再開
- ②赤武酒造株
- ③盛岡市
- ④皆さんの応援でここまで来ました。感謝いたします。新しい浜娘をみんなで醸します。
- 谷藤かおりさん [たにふじ・かおり／右]
- 菊池勇良さん [きくち・たけかず／左]

①震災後の主な活動 ②所属 ③お住まい ④本人から一言

盛岡
から

「盛岡から」の
メッセージ

三陸
へ

「三陸へ」の
メッセージ

三陸
から

「三陸から」の
メッセージ

三陸
へ



江口敏治さん [えぐち・としはる]

- ①ボランティア活動 ②盛岡市かわいキャランプ ③福岡県春日市 ④被災者の和、ボランティアの和、日本の和、復興の輪。きっとみんなが口に出せないことだけど、自分たちは輪のキッカケになりたい。

三陸
から



熊谷浩昭さん [くまがい・ひろあき]

- ①震災後、盛岡で開店
- ②陸前高田 倭っ家 ③盛岡市
- ④盛岡での開店を決めて良かった! 沿岸から来る方々とのあたたかいふれあいに感謝です!!

三陸
から



長沼浩さん [ながぬま・ひろし]

- ①被災地スーパーでの販売
- ②会社員 (マイヤ大船渡インター店)
- ③陸前高田市
- ④被災者の皆様お互いに前向きに頑張りましょう。

三陸
へ



鎌田晴己さん [かまだ・はるき]

- ①ボランティア活動
- ②SAVE IWATE・学生
- ③盛岡市
- ④岩手が良い意味での先進県になってほしい。

三陸
から



阿部賢太郎さん [あべ・けんたろう]

- ①ブチミュ! ホッシー役
- ②ブチミュ!
- ③大槌町
- ④将来の夢を考える機会が多くなった。プログラマーになる夢を叶えたい。

三陸
から



山崎純さん [やまさき・じゅん]

- ①焼き出し、支援物資ニーズ調査 ②飲食店「ポルコロッソ」
- ③大船渡市 ④あつという間だった。一步一步進んで行くしかない。

三陸
へ



織笠弘さん [おりかさ・ひろし]

- ①ボランティア活動
- ②SAVE IWATE
- ③盛岡市 ④現在盛岡の息子達の所に身をよせ支援センターでクルミ割りチームで働いているが、仲間の人達と顔をあわせながら楽しく働いております。

三陸
へ



棚谷潔さん [たなや・きよし]

- ①ボランティア活動
- ②盛岡市かわいキャンプ
- ③秋田県秋田市
- ④写真を洗浄して宮古市民に返す事を目標にがんばっています。

盛岡
から



山本吉昭さん [やまもと・よしあき]

- ①スポーツを通した復興支援 ②岩手ビッグブルズ #13 ガード ③滝沢村 ④復興に向けて一緒に戦っていきましょう!

●寒竹隼人さん[かんたけ・はやと／#21 フォワード] ●澤口誠さん[さわぐち・まと／#1 ガード]

●並里祐さん[みなぎと・たすく／#3 ガード] ●Shin Jae Rokさん[シン・ジェロック／#7 ガード・フォワード]

盛岡
から



福井せいじさん [ふくい・せいじ]

- ①復興食堂の立ち上げ・事務局運営
②岩手県議会議員 ③盛岡市 ④復興とは壊れたものを元に戻す事ではない。そこに住む人達が新たなエネルギーを創造する環境をつくる事。そして必ずやり遂げる事。

盛岡
から



Yuriさん [ゆり]

- ①スポーツを通した復興支援 ②岩手ビッグブルズ オフィシャルダンスチーム ③盛岡市 ④私も山田町出身なので、地元の復興をとても強く願っています。また美味しい海産物を食べに何度も行きたいです!

三陸
へ



仁科大史さん [にしな・ひろし]

- ①物資配達・避難所でおもちゃを使った遊び提供 ②ホビースクエアにしな ③盛岡市
④今後も活動を続けることが大事

仁科光正さん [にしな・みつまさ]

- ①物資配達・避難所でおもちゃを使った遊び提供 ②ホビースクエアにしな ③盛岡市
④これからもイベントで支援して行きます。

三陸
へ



藤澤佳代さん [ふじさわ・かよ]

- ①ボランティアマッチング
②盛岡市社会福祉協議会
③盛岡市
④盛岡のみなさん、もっとボランティアに参加してみませんか?

三陸
へ



野中里菜さん [のなか・りな]

- ①被災企業支援
②岩手県立大学・復興girls*
③盛岡市
④たくさんの人たちとの出会いの中、とても成長させられました。感謝の一周年です。

盛岡
から



福井せいじさん [ふくい・せいじ]

- ①復興食堂の立ち上げ・事務局運営
②岩手県議会議員 ③盛岡市 ④復興とは壊れたものを元に戻す事ではない。そこに住む人達が新たなエネルギーを創造する環境をつくる事。そして必ずやり遂げる事。

盛岡
から



Yuriさん [ゆり]

- ①スポーツを通した復興支援 ②岩手ビッグブルズ オフィシャルダンスチーム ③盛岡市 ④私も山田町出身なので、地元の復興をとても強く願っています。また美味しい海産物を食べに何度も行きたいです!

三陸
へ



三田聰子さん [みた・さとこ]

- ①あーとキャラバン
②岩手県立美術館職員 ③花巻市
④周囲と歩幅を合わせてゆっくりと、一步一歩着実に、一緒に前に進みたいです。

三陸
へ



菅原誠さん [すがわら・まこと]

- ①ABOAT JAPAN 代表
②スガワラ靴店 専務
③盛岡市
④地元の人達が目指す街を作る手助け。ここからが正念場です。

盛岡
から



チーム復興推進部

- 似鳥明子さん[にたり・あきこ／上段左] ①被災地(者)の後方支援(以下同) ②盛岡市役所復興推進部事務局(以下同) ③盛岡市 ④辛い事をたくさん見聞ましたが、同じ位感動する事の多い一年でした。
●斎藤郁子さん[さいとう・いくこ／上段中] ③盛岡市 ④明るい街づくりの輪をより大きく共に頑張りましょう。
●橋山かおるさん[ならやま・かおる／上段右] ③滝沢村 ④これからも復興に向けて出来る事を続けていこうと思います。
●鈴木由佳さん[すずき・ゆか／下段左] ③盛岡市 ④支援する側もされる側も希望を持って前に進んでいっていると思います。
●小塚こづ枝さん[こつか・こづえ／下段右] ③盛岡市 ④人と人が協力し確実に復興に向け進んでいる。これからもできる支援をしていきたい。

盛岡
から



澤田貴子さん [さわだ・たかこ]

- ①被災者ケア
②もりおか復興支援センター(職員)
③盛岡市
④「ステッチ」のひと針となれるよう、まだまだ踏ん張ります!

盛岡
から



細田玲さん [ほそだ・あきら]

- ①被災者ケア
②もりおか復興支援センター(副センター長)
③盛岡市
④まだまだ支援が必要なので、みなさまのご協力をお願いします。

盛岡
から



黒沼亮介さん [くろぬま・りょうすけ]

- ①各種イベントを通した復興支援
②株盛岡club change
③盛岡市
④音楽の力を改めて感じた。

盛岡
から



木棚裕永さん [きだな・ひろなが]

- ①被災企業支援
②洋服販売 (SPICE)
③盛岡市
④微力ではございますが、ご協力をさせて頂きます。

前へ！元気に！ ぼくらの活動便り ～三陸の子どもたち～

震災からおよそ1年。少しづつ着実に変わり始めていく環境の中で、子どもたちは今どのように過ごしているのでしょうか？ いわての明日を担う彼らの“いま”を紹介します。

大槌町の子どもたちによる 「プチ・ミュージカル」が開催



プチミュ！
[ミュージカルサークル]

「プチミュ！」とは、プチ・ミュージカルの略。子どもたちが楽しくミュージカルをしている姿を見てもらつて元気を与えたい、との思いから東京の演劇サポート団体が、大槌の復興活動団体「おらが大槌夢広場」の協力を得て結成した。昨年8月の初公演以来、これまで3回行つたが、セリフやダンスは公演前のわずか3日間でマスターするというから驚きだ。大槌町の子どもたちを中心としたメンバーは

「何か新しい、おもしろそうなことをしてみたかった」「演劇に興味を持った」「震災で転校してしまった友だちと一緒に活動できる」など、キラキラした瞳で楽しそうに話してくれた。小学校5年生の村上芽ちゃんは「1月の公演はちょっとだけ間違えてしまつたので悔しい。これからもプチミュ！があれば全部出たい！」と強い意気込みで次回に臨む。公演は盛岡市のチャリティ公演誘致事業が主催。次の公演は、メンバーに盛岡市の子どもたちが加わり盛岡フェザンにて3月20日に開催予定。新シナリオとなる次の公演を心から楽し



FC釜石
[サッカー少年団]

現在70人が在籍するサッカー少年団・FC釜石。市内のあら

ゆる小学校からメンバーが集まり、活動している。震災後の5月から練習を再開。それまでの練習場所であつたグラウンドに仮設住宅が建つたことから、現在は市内の廃校になつた学校の体育館や公共の体育館に毎週予約をとつて、週に2回の練習に励んでいる。

練習は2学年ごとに時間を区切って行われている。年齢が近い子どもが集まつての練習だけに、震災後、母の勧めで入団。「他の学校の友達もたくさんできた。ゲームと同じくらい楽しい！」と声を弾ませる。いまだに仮設住宅で暮らす子どもも多いが、サッカーをしている瞬間は一切を忘れて、イキ

イキと練習に取り組んでいるようだ。川崎利雄代表、コーチにあたるOBや父兄に支えられ、今日も子どもたちは弾けんばかりの笑顔でボールを追いかける。

ボールを介して結ばれた子どもたち

ともに手を携えて、少しずつでも前に向かつて歩いていく



作家
もりおか復興支援センター長
斎藤純

もりおか復興支援センターは盛岡市とその近

隣町村で避難生活を送っているみなさんに交流の場として利用していただいています。あまり知られていませんが、盛岡市では800世帯1600人あまりの方が避難生活を送られています。古里を離れていても、古里の復興を思う気持ちは同じです。

被災1年を迎えた。今まで災害対策支援が主でしたが、これからは心の支援が求められるでしょう。それには、専門的な知識や経験を要します。私たちは及ばずながらも、ともに手を携えて、少しずつでも前に向かつて歩いてい

いこうと決意を新たにしています。

センターでは生活相談員が市内の見なし仮設住宅を全戸訪問し、社会福祉協議会などと連携して見守り活動を行っています。

また、お茶っこ飲み会、囲碁クラブ、小学校

高学年から中学生を対象とした学習支援、演劇やコンサートへの招待、センター内でのミニコンサートなどを行つてきました。

そして、全国から寄せられた衣料品を被災者のみなさんにお渡ししてきました。このボラン

ティアには避難生活をしている方にも参加していただいている。これは、とても頼りになる援助していただきたいと思っています。

仲間たちとの出会いとなりました。

ボランティアの方から、こんな言葉を聞きました。

した。

「私は津波で『物』を失ったが、『者』を得たようだ」

私たちには「モノ」が、人と人とのつなげ役割を持つていることを学びました。この出会いが今後の「心の復興」の鍵になるに違いありません。

せん。

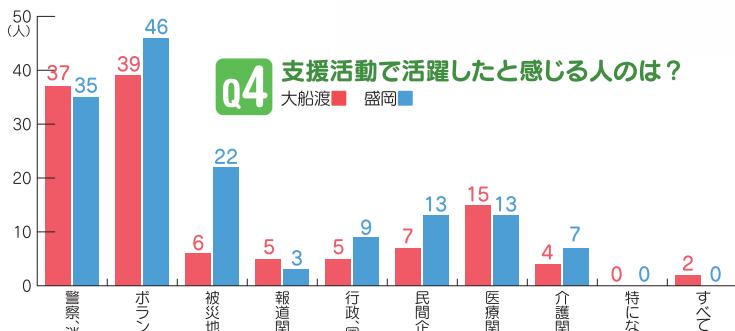
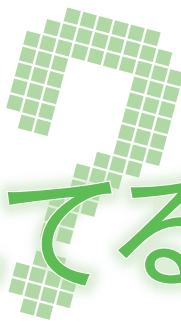
東日本大震災は大きな不幸でしたが、この素晴らしい出会いを大切にして、「心の復興」を支

援していただきたいと思っています。

○♦

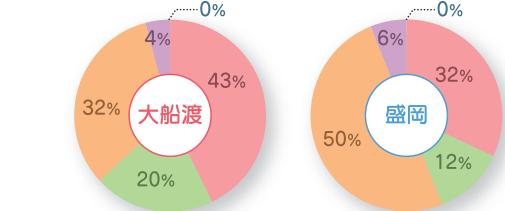
沿岸被災地に、近くで遠い盛岡。
実際に足を運んでも「目を見張る復興ぶりだ」と感じるか、「全然足りない」と感じるかは人それぞれ。
そこで、みんなが復興についてどのように考えているのか、盛岡と大船渡でアンケートを実施しました。

あれから1年 復興をどう見てる



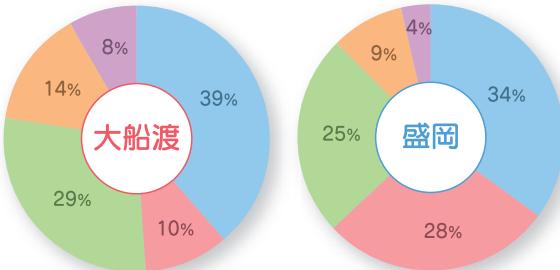
Q1 復興が進んでいると感じますか?

- 1とても進んでいる 2それなりに進んでいる 3進んでいる
4あまり進んでいない 5まったく進んでいない



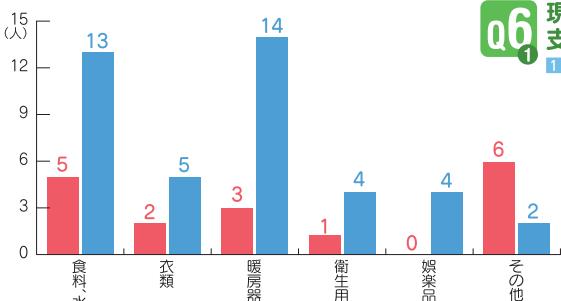
Q2 復興に大切なものは?

- 1復興財源 2復興への関心 3行政のサポート
4地域のつながり 5その他



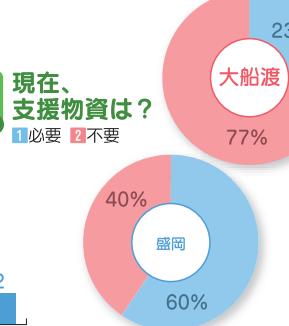
Q6 現在必要な物資は?

大船渡 (Red) 盛岡 (Blue)



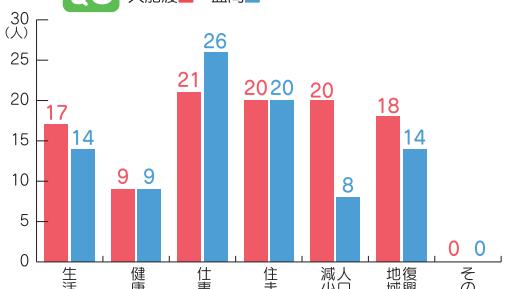
Q6 現在、支援物資は?

- 1必要 2不要



Q3 不安に思うことがありますか?

大船渡 (Red) 盛岡 (Blue)



注 アンケートは、2012年2月、大船渡市内および盛岡市内で実施。有効回答数：大船渡市内50、盛岡市内50の計100人。

今後は、支援する側とされる側とで「どういう支援が必要か」という相互理解を深めていくことが不可欠でしょう。

今後は、支援する側とされる側とで「どういう支援が必要か」という相互理解を深めていくことが不可欠でしょう。

本アンケートでは、復興進捗の実感や不安、感謝している支援者たちなどでは、大船渡と盛岡での回答で同じ傾向を示しました。復興を「それなりに進んでいる」と感じている人の割合が大船渡の方が多い多かったです。大船渡では実際に進んだのは、直後の状況を肌で知る人が多いからかもしれません。「今後も物資支援は必要?」との問い合わせで、大船渡では実際に7割以上の人気が「不要」と回答しています。中には「自立も必要」と言い切る人も。物資支援の段階を脱し、日常を取り戻すために歩みはじめている沿岸部の実情を反映しているのでしょうか。しかし一方で、2割程度の人が物資を求めていることを見逃せません。「必要」と感じている人のところに、「支援したい」と感じている人の支援が届く。そのようなマッチングが必要になつてているといえそうです。もう必要がないと思われる支援には、衣類、石けん類、タオル類、レトルト食品などがあげられ、現状を考えればどれも納得できるものばかり。

コメント

大船渡から

- 復興が進んできた頃、固形石けん、レトルト食品など、同じものだけが一度に大量にきて困った
- 仮設住宅で一人暮らしをしている高齢者の方が心配です
- 物資や支援に偏りがあると感じる
- 職がない人たちが仕事につけるようにしてほしい
- 地元で自由に復興に使える財源がほしい
- 格差のない復興を望みます

盛岡から

- 少しづつの支援を、みんなで無理なく続けられたらしい
- みんなでがんばりましょう
- リーダーシップを執れる人ががんばってほしい
- 岩手が先進県になってほしい!!

災害時への心得

日常の
備え
編



するなど、ライフルラインの一部が止まつたときに対応できる環境を整えましょう。

災害から身を守る 「自助・共助・公助」の考え方

地震、岩手山の噴火、水害など、災害は「いつか必ず起こること」と考え、日頃から備え

□自助 災害時、自分を守るの

□**共助**／共に助け合うこと。困難なことが起きる災害時に協力しあえるよう、周囲とのお付き合いは日頃から大

清掃や洗濯用に浴槽の水をとつておく、ガーデニング用に雨水を貯めておく、などの習慣があると、断水時にもトイレを使えます。また、クルマ生活に自転車を取り入れる、ヒーターと反射式ストーブを併用

生活習慣を見直す

非常備蓄品のほか 非常持ち出し袋のご用意を

非常持ち出し品(例)

- 懐中電灯
 - 乾電池
 - 水
 - 非常食
 - レジャーシート
 - 軍手
 - アルミブランケット[防寒・防暑]
 - 三角巾、マスク
 - 十徳ナイフや缶切り
 - マッチ、ろうそく
 - その他／レインコート、スリッパ、カイロ、紙おむつ、生理用品など

- 布ガムテープ [★物の固定 ★止血
★メモを貼って伝言に]
- タオル [★ハンマー ★濾過フィルター]
- ポリ袋 [★水の運搬 ★敷物 ★防寒]
- 油性ペン [★屋外で伝言を残せる]
- ラップ [★断水時の食器使用に
★包帯]

□ 盛岡での災害を考える
□ 岩手山の噴火

岩手山は28もの小火山から構成される複合火山。一度は「ハザードマップ」に目をとおしておきましょう。

たくさんの川が流れる盛岡市河川の氾濫はもつとも身近な

災害です。地震と水害では避難場所が異なる場合もあります。大雨のときは、ちょっととした斜面でがけ崩れが起こる場合がありますので注意しましょう。

盛岡での災害を考える

モノを上手に活用しよう

- ① 懐中電灯／LEDライトなら電池も長持ち
- ② ラジオ／手回し充電式なども便利
- ③ 身を守る(レインコートなど)／寒さ、雨・雪、粉塵、二オイ、病気予防★ 帽子やゴミ袋、歩きやすい靴との併用も!
- ④ 手ぬぐい&タオル／衛生対策に、救助を呼ぶ旗に、ヒモとして、水のフィルターに
- ⑤ ケータイ／ネットの有効活用も★ 回線の確保のため、連絡は最小限に!
- ⑥ ケータイバッテリー／クルマからの充電器、手回し式充電器、太陽光からの充電器なども
- ⑦ クルマの活用／宿に、発電機として、ラジオ・テレビの視聴に★ 非常用品の装備&こまめな給油を忘れずに

災害について学ぶ

イーハトーブ火山局

普段は展示施設、岩手山が火山のときには前線基地。災害対策本部となる施設。
住所／岩手県八幡平市松尾寄木2-515 TEL.0195-78-4881

岩手県消防学校

矢巾にある岩手県消防学校では大きな地震などの体験ができます。
住所／紫波郡矢巾町大字藤澤3-117-1 TEL.019-697-3434

■ハザードマップ

国土交通省発行の「ハザードマップ」。様々な災害の予想地域がひと目で分かります。
URL:<http://disaportal.gsi.go.jp>

■地震ハザードステーション

地震防災を目的に作られているサービス。全国地震動予測地図では、気になる場所の地震が起こる可能性がわかります。 URL: <http://www.j-shis.bosai.go.jp/>



つながる医療・ 支える医療

地域に密着した医療を担う医師や看護師たち。今回の震災でも、医療人たちのネットワークと連携が、私たちをさまざまな側面からサポートしていました。岩手県の医療連携がどのようにして生まれ、どう活かされたのか——そのキーマンでもある県立大船渡病院・山野目辰味氏にお話をうかがいました。

岩手県立大船渡病院／脳神経
外科・救命救急センター副セン
ター長・災害医療科長

今回の震災についてしばしば“想定外”という表現を耳にしますが、沿岸部で医療に携わる私たちは、何年も前から災害時に起こりうるさまざまなかたの状況を想定し、そこで必要な重要性を訴え、その準備をしてきました。

廐や磐井にある県立病院と連携して対応対策をとる。宮古地域の病院は盛岡の病院と、釜石は中部病院と、というように沿岸と内陸の交通網を活かした医療圏のネットワークとバックアップ体制が私が県の災害医療の会議で提案し策定していた岩手県の沿岸部津波災害における災害医療の戦略です。

は、花巻空港が広域搬送のための拠点（花巻空港SCU：Staging Care Unit）となり、救急医療の基地として、県外から来る救急医療隊や自衛隊のヘリポートとして有効に機能しました。

沿岸に津波被害が発生したら、宮古・大船渡・釜石といった地域は連携が取れなくなります。昭和30年代の津波災害時には、各地域の病院が独自に対応するだけで内陸からの支援は機能していませんでした。支援は海から来ていたんです。現在は道路網が発達して沿岸と内陸の交通が容易になりましたので、これを利用了したネットワークづくりが可能になりました。

ただ何か災害が発生した際、盛岡だけに一極集中するのはよろしくない。岩手県下すべての病院が各々の医療圏と連携をとりながら、非常時に対応できるようにしなければなりません。

岩手の医療をつなぐ東西支援

救急から慢性期医療まで

D MATは災害時医療の一部にしか過ぎません。本来D MATに求められるのは、消防や警察、病院の活

動の隙間を埋める役割。医療設備がないところに入つて、必要なニーズを見つけ、現場と病院をつなげる仕事がその本質です。

日本にはアメリカのような非常事態における司令体制がないため、各々のDMA-T関係者や医療機関、消防・警察が自主的に連絡を取り合つて訓練や情報交換しているのが実情ですが、国には早急に危機管理のための省庁を設けてもらつて、何か起きた場合の司令系統を整えてほしいと思います。

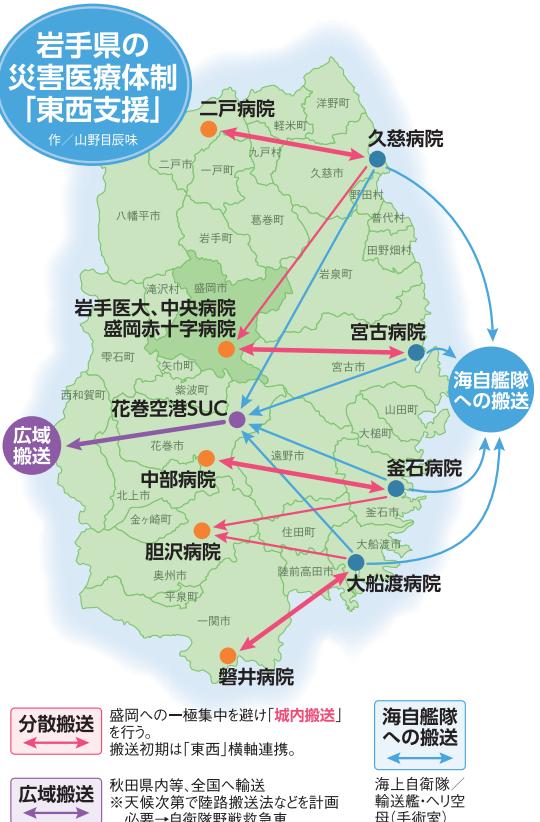
今回のような大災害下でも、県の医療連携はかなり機能したほうだと思いますが、その背景には、日頃からつづいた県立病院間のネットワークと連携がありました。県内では震災前から、医師や看護師を人員の足りない病院に派遣して地域医療を助け合ってきたのです。

急性期の医療が一段落して、これからは災害後の慢性医療をどのように

にするかを考えなければならぬ段階にきています。ケガをした人や高齢者のリハビリ、心のケア、そのための施設や専門家、人員も必要でしょう。そしてこれはロングスパンで取り組まなくてはならない事案です。災害時に岩手ではどのようなことが行われていたのか。いま岩手の医療がどのような状態にあるのか。一般の皆さんのがん心をもつてくれるところが、地域医療の発展につながると私は信じています。



岩手県立大船渡病院。東日本大震災では、三陸沿岸全域の被災者を受け入れ、医療にあたった。



真の情報は 人によつてつながる

お話を
野崎英二氏 岩手県立中央病院／循環器科 救急医療部長

国道106号線が通じている

ことから、岩手県立病院は県立宮古病院と常時、連携をとつていまして、今回の震災でも宮古で被災した患者さんを数多く受け入れています。被災した高田病院にも副院長クラスの医師や研修医を交替で向かわせ支援を行いました。

緊急時の医療支援といつても、

日頃からお互いの信頼関係がで

きていないと充分なサポートは

できません。今回のような災害

が発生すると現場は当然パニックになります。そこに外部の人

間が電話して被害状況や必要なものをたずねても、適切な情

報は期待できない。実際は医療資材の備蓄が不足し、電力も不安になって医療が維持できない

状況だったのですが……。現場

を知っている者同士でコミュニケーションしないと、相手が必要としていることを察し、すぐ

上げることができないので

す。それとも終日現場で医療にあたつ

ておられました。不眠不休の医療は宮古病院も同じで、こちら

にも支援の医師を向けましたが、皆さん休もうとしない。医療従事者はそういうものなのかもしれません。

このように岩手県はすぐれた人たちが地域医療に携わり、それをバックアップする体制が整っている県です。解決すべき問題が多くあることも事実。でも今回県内で展開された医療連携はいろいろなところから注目され、これをモデルとした異分野間の新しいネットワークが生まれつつあります。



岩手県立中央病院は、盛岡医療圏約半数の救急が搬入される二次救急病院。東日本大震災では医療支援の中核機関として機能した。そのキーマンのおひとり野崎英二氏（写真：右から2人め）と岩手医療の未来を担う若い医師たち

生活支援情報

東日本大震災子どもの学び支援ポータルサイト

支援の要請と提案をマッチング
文房具や暖房機器など各被災学校などの要望と、各団体が提案する支援を紹介しています。また被災地側から支援の要請をすることも可能です。詳しくは下記URLから。

◆080-2071-1688

- 受付時間／9:30～19:00(休／土日祝)
- http://manabishien.mext.go.jp
- メール／HPのお問い合わせフォームから

SAVE IWATE

長期的な支援を目指して

物資支援や被災地や避難地域の情報提供、チャリティ事業などを行っている。

◆019-604-7622

- 受付時間／10:00～15:00(土日／9:00～15:00、休／火)
- 住所／盛岡市銅屋(なたや)町9-36
- http://sviwide.wordpress.com

災害復興住宅融資

地方公共団体から

「り災証明書」を交付されている方へ
震災により被害が生じた住宅の所有者または住居地で、住宅の建設や購入、補修する方がご利用いただけます。

◆0120-086-353
(048-615-0420)

- 受付時間／9:00～17:00(休／祝、年末年始)
- http://www.jhf.go.jp/shinsai/yushi.html

盛岡市消費生活センター

借金でお悩みではありませんか？

震災によって抱えた多重債務などのご相談もご連絡ください。
※相談無料・秘密厳守

◆019-624-4111

- 受付時間／9:00～16:00(休／土日祝)
- 住所／盛岡市肴町2-29 呉町分庁舎2階
- http://www02.city.morioka.iwate.jp/04simin/syohi/epron/

被災された方へ 税の相談はお済みですか？

東日本大震災により住宅や家財、自動車などに損害を受けられた方は、雑損控除等の適用により平成22年分にさかのぼって、所得税の還付や軽減を受けることができます。



まずは
お電話を
!!

還付等の手続きの流れは次の通りです。

- 最寄りの税務署に電話
- 申告の要否、必要書類の確認等
- 税務署等で個別相談、申告書等の提出
- 所得税等の還付や軽減

盛岡税務署

◆019-622-6141 (案内に従い0番を選択)

- 住所／盛岡市本町通3丁目8番37号
- http://www.nta.go.jp/sendai/guide/zeimusho/iwate/morioka/index.htm

法務局 震災相談窓口

登記・会社印鑑などのご相談

不動産や会社、船舶の登記。カードの紛失など法務局交付書類などのご相談に対応。

◆0120-227-746

- 受付時間／8:30～17:15(土日祝／9:00～16:00)
- http://houmukyoku.moj.go.jp/morioka

東日本大震災 司法書士無料電話相談

各種手続きなどのご相談

ローンの返済や相続の手続きなど、震災によるさまざまな相談に対応。

◆0120-823-815

- 受付時間／月～金10:00～13:00
- http://iwate-shihoshoshikai.jp

震災行政相談専用 フリーダイヤル

どこに相談したらいいか迷ったら
地震による被災について「どんな支援が」ある？「困っていることの相談先がわからない」などの相談を受け付けています。

◆0120-711-815

- 受付時間／8:30～17:15(休／土日祝)

中小企業電話相談 ナビダイヤル

震災の影響で運営に不安を抱いた中小企業の方々へ

震災の影響を受けた全国の中小企業の皆さんからの相談を受け付けています。最寄りの経済産業局の中小企業課に繋がります。

◆0570-064-350

- 受付時間／9:00～17:30(休／土日祝)
- http://www.chusho.meti.go.jp/earthquake2011/

岩手弁護士会 東日本大震災電話無料相談

被災者を対象とした

弁護士による無料法律相談

各国外国語対応あり、外国人のための相談窓口。ご本人でも知り合いに外国人がいらっしゃる方でも対応。

◆0120-755-745

- 受付時間／13:00～16:00(休／日祝)
- http://www32.ocn.ne.jp/~iwate_ba

公益財団法人 岩手県国際交流協会

外国人を対象とした各種相談

各国外国語対応あり、外国人のための相談窓口。ご本人でも知り合いに外国人がいらっしゃる方でも対応。

◆019-654-8900

- 受付時間／9:00～21:30 ※時間帯によっては対応できない言語もあります。
- 住所／盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
- http://iwate-ia.or.jp(外国人を対象とした各種相談)

盛岡市社会福祉協議会からのお知らせ

3/31まで

ボランティア保険の更新は
お済みですか？ボランティアをされている方へ

3月31日でボランティア保険の期限が切れます。今後もボランティア活動をされる方は更新の手続きを。詳しくは盛岡市社協まで。

◆019-651-1000

- 住所／盛岡市若園町2番2号 盛岡市総合福祉センター内
- 受付時間／8:30～17:15
- http://www.morioka-shakyo.or.jp/

3/31まで

女性＆シングルマザーのためのパープル・ホットライン

3/31まで

震災で困っている女性＆シングルマザーのために

震災で困り事を抱えた女性のために電話相談をお受けします。必要があれば直接お会いして相談をお受けすることもできます。

◆0120-941-826

- 受付時間／10:00～21:00(火)、～17:00(木)、13:00～16:00(土)
- http://www.single-mama.com/purple-hotline2011/

高速道路無料について

3/31まで

NEXCO東日本より 東北地方無料措置のご案内

11月30日以前に実施していた証明書を必要とする被災者支援としての無料措置も、3月31日まで縮小されます。

◆0570-024-024
(03-5338-7524)

- 受付時間／24時間
- http://www.e-nexco.co.jp



もりおか復興支援センター

◆019-654-3521

- 住所／盛岡市内丸3-46 旧農林中央金庫ビル ●開館時間／10:00～19:00(休／月、月曜祝日の場合火曜休館)
- FAX 019-654-3524 ●http://morioka-fukkou.com
- アクセス／県庁・市役所バス停下車 徒歩2分 ●駐車場なし

東日本大震災により沿岸被災地などから盛岡市に避難している方々に、きめ細やかな支援活動を行う拠点施設として平成23年7月11日オープンした「もりおか復興支援センター」。

暮らしや仕事など生活についての相談や、沿岸地域の広報誌などによる情報収集ができるのはもちろん、「お茶っこ飲み会」をはじめ、被災者の方々の交流の機会となる各種イベントを開催しています。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

開催イベント

■お茶っこ飲み会(毎週土曜日) ■地域別お茶っこ飲み会(随時)

■紡ぎサロン(毎週水曜日)

※開催は変更がございます。

「やまさき」の歓送迎会プラン

飲み放題

時間無制限 / 3時間 /

4,000円 3,300円

お料理6品 お料理8品

4名様から 4名様から

ステッキを見た！のご予約特典（10名様以上のご宴会）として…
陸奥八仙1本（5000円相当）プレゼント、
もしくは幹事さん料金無料

東北地
yomasaki
炭火焼・居酒屋
やまさき
盛岡市中央通1-11-7桜川ビル1F
営業時間：18:00～朝4:00迄
休日曜
TEL:019-625-7203

アニアリ正規取扱店
春の新作入荷中

レザーカバーショルダー ¥38,220

SPICE <http://www.spice-style.com>

TEL:019-654-6555 盛岡市内丸4-1(桜山神社向) 営業時間:11:00～20:00

岩手の銘酒
岩手の旬を
心行くまで

匠

美醸旬彩 takumi-no

美醸旬彩 匠の [たくみの]
盛岡市大通1-11-4
019-652-1804
営業時間 18:00～深0:00(23:30LO)
休日曜
席数／40席
駐車場／なし

自社醸造の地ビールと日本酒で乾杯！

ステラモンテの歓送迎会プラン
お1人様 3,500円より
(4名様~/飲み放題・料理6品)
20名様以上で貸切スペース
『源三屋』がご利用可能
ご予算 4,000円以上・20名様
以上でバス送迎可（盛岡市内）
※要予約、1週間前まで

Stella Monte
盛岡市大慈寺町10番34号
TEL:019-624-7206
OPEN:11:30～15:00
17:30～22:00

8S

TM
GERMAN SUPLEX

DELFONICS・HIGHTIDE・MOLESKIN・
RHODIA・TOKYO BIKE・ITOYA・BUILT・
ManhattanPortage・reisenthel・他

MORIOKA OODORI MOSS 2F

和のギャラリー

薰風舎

着物、帯、和の小物

盛岡市菜園1-8-3
～カワトクCUBEⅡ近く～
TEL:019-622-0929
定休日：水曜日

リサイクル古着屋
Dondon Down on Wednesday ドンドンダウン オンウェンズデイ

リメンバー
Remember 3.11
古着を売って被災地に笑顔を!! キャンペーン

3月5日(月)～31日(土)

お買取1件につき、1口￥100を寄付可能、また、参加1件につき、ドンドンダウンから￥5の寄付を追加して行ないます。ご参加頂いたお客様には、参加証明書と次回買取金額が5%UPするサービス券を差し上げます。

市内実施店舗 盛岡南店／月が丘店／盛岡洪民店

キャンペーン詳細は
ホームページをご覧ください。 [ドンドンダウン](#) [検索](#)

名物とりちゃん焼き
【小肉・手羽小間・皮・砂肝】

1人前 500円 2人前 850円

ミズガラ	V
大通り	サンビル
映画館通り	TEN 酒呑処
地下1階	盛岡城跡公園
農林会館 P	
カワトクさん	

■ 営業時間 / PM5:30～AM1:00
■ 定休日 / 毎週月曜日
岩手県盛岡市菜園1丁目4-1 B1F
TEL/FAX:019-656-9696

新メニュー
手巻きレタスの坦々そば

【岩手が誇るブランド豚、佐助豚使用】
・小エビ
・カイワレ
・しば漬け付き
850円

モリフェス2012
三陸市場
2012年3月25日(日)11:00～16:00
もりおか歴史文化館前広場 入場無料!

たら汁
甘酒
おもち
無料!

出店
久慈広域観光協議会
おらが大槌復興食堂
上鹿妻あいさい館
& R O a s t
演出
のびっこ療育センター
岩手スドリートパフォーマンスクラブ
佐比内金山太鼓
松本哲也

■復興支援フリーペーパー「STITCH」配布会実施！

主催：盛岡市 制作：株盛岡Club Change 特別協賛：もりおか歴史文化館
後援：岩手日報社 / 盛岡タイムス社 / IBC岩手放送 / テレビ岩手 / 岩手めんこいテレビ / 岩手朝日テレビ / エフエム岩手 / ラヂオもりおか
お問合せ：盛岡Club Change (019-652-7182) / もりおか歴史文化館 (019-681-2100)
このイベントは音楽を活用した盛岡市市中心街活性化事業です。

安心の街「ひたかみ住宅公園」の

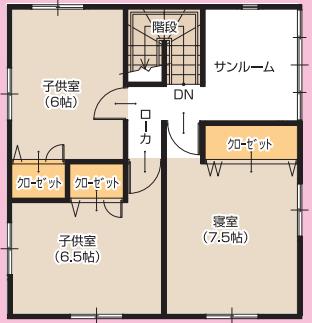
建売分譲2邸



子育て3LDKの家

〈土地〉+〈建物〉

1,897万円

No.15-A3
3LDK■1階床面積／48.02m²(14.52坪)
■2階床面積／49.68m²(15.02坪)
■延床面積／97.70m²(29.55坪)
■敷地面積／148.08m²(44.79坪)

夫婦で暮らす2LDKの平屋

〈土地〉+〈建物〉

1,647万円

No.15-A4
2LDK■1階床面積／64.19m²(19.42坪)
■敷地面積／196.13m²(59.32坪)春を新居で!
即ご入居可能!
家賃並みの
お支払い!

【ひたかみ住宅公園建売分譲概要】●物件の所在地／北上市里分7地割35番51(15-A3)、52(15-A4) ●交通／JR北上駅1,600m・総戸数／2戸 ●今回販売戸数／2戸 ●構造／木造軸組工法2階建て(15-A3)、木造軸組工法1階建(15-A4) ●建物面積／15-A3:1階48.02m²・2階49.08m²・延べ床面積97.70m²、15-A4:1階64.19m² ●建物完成年月／平成23年11月完成済 ●建物引渡し年月日／即 ●建築確認番号／第H23確認建築北上00081号(15-A3)、第H23確認建築北上00080号(15-A4) ●売主／株式会社中央開発 ●取引条件の有効期限／平成24年3月末 ※その他は下記宅地分譲概要と同様

きたしん住宅ローンお支払い例(北上信用金庫)

No.15-A3 ●3LDK(1,897万円)

融資金額／1,897万円の場合

月々58,083円

ボーナス払いなし

●35年返済毎月均等払い

●当初10年間固定金利1.50%

きたしん住宅ローンお支払い例(北上信用金庫)

No.15-A4 ●2LDK(1,640万円)

融資金額／1,640万円の場合

月々50,214円

ボーナス払いなし

●35年返済毎月均等払い

●当初10年間固定金利1.50%

建築条件なし

宅地分譲78区画

■販売価格帯／535万円(147.46m²)～1,092.7万(236.12m²)

■最多販売価格帯／900万円台(35区画)

区画番号	面積(m ²)	面積(坪)	販売価格(円)	区画番号	面積(m ²)	面積(坪)	販売価格(円)	区画番号	面積(m ²)	面積(坪)	販売価格(円)
1-6	236.12	71.42	10,927,000	11-3	234.93	71.06	10,445,000	15-A4	196.13	59.32	※
2-1	234.16	70.83	10,412,000	11-4	234.39	70.90	10,138,000	16-1	193.41	58.50	7,956,000
2-2	234.66	70.99	9,654,000	11-5	234.60	70.96	10,218,000	16-2	217.39	65.76	8,943,000
3-1	189.35	57.27	8,418,000	11-6	234.40	70.90	10,209,000	17-1	211.70	64.03	9,412,000
3-5	190.74	57.69	8,307,000	11-7	190.44	57.60	※	17-2	209.92	63.50	8,636,000
4-3	215.82	65.28	9,987,000	11-8	219.90	66.51	8,978,000	17-3	211.46	63.96	9,721,000
5-4	182.17	55.10	8,375,000	11-10	189.85	57.42	8,498,000	17-5	210.33	63.62	9,543,000
6-1	220.53	66.71	9,806,000	12-2	172.59	52.20	7,830,000	17-6	211.62	64.01	10,049,000
6-2	219.61	66.43	9,565,000	13-1	219.12	66.28	10,207,000	18-1	218.78	66.18	9,728,000
6-4	219.53	66.40	9,561,000	13-2	219.32	66.34	10,083,000	18-2	218.84	66.19	9,531,000
6-5	219.66	66.44	10,431,000	13-3	219.78	66.48	10,104,000	18-3	218.99	66.24	9,538,000
6-8	199.43	60.32	8,987,000	13-4	218.85	66.20	10,062,000	18-4	218.91	66.22	9,535,000
6-9	198.85	60.15	8,962,000	13-5	219.60	66.42	10,095,000	18-5	218.79	66.18	9,529,000
6-10	198.80	60.13	8,959,000	13-9	197.09	59.61	9,001,000	18-6	219.11	66.28	10,405,000
7-1	221.98	67.14	9,869,000	13-12	209.42	63.34	9,437,000	18-8	212.92	64.40	9,595,000
7-2	222.05	67.17	9,672,000	14-B1	173.46	52.47	6,350,000	18-9	212.82	64.37	9,591,000
7-3	221.63	67.04	9,653,000	14-B2	173.47	52.47	6,000,000	18-10	212.90	64.40	9,595,000
7-9	199.61	60.38	8,996,000	14-B3	173.46	52.47	6,000,000	18-11	212.96	64.42	9,598,000
7-10	199.56	60.36	8,993,000	14-B4	173.47	52.47	6,000,000	18-12	213.12	64.46	9,797,000
7-11	199.66	60.48	9,192,000	14-B5	173.45	52.46	6,000,000	19-1	206.78	62.55	9,194,000
8-1	186.91	56.54	※	14-B6	173.46	52.47	6,000,000	19-2	206.76	62.54	9,005,000
8-2	186.84	56.51	8,476,000	14-B7	173.45	52.46	6,250,000	19-3	206.45	62.45	8,992,000
8-4	189.79	57.41	9,300,000	14-B8	198.97	60.18	9,027,000	19-4	206.28	62.39	9,795,000
8-5	187.12	56.60	8,603,000	14-9	198.87	60.15	9,022,000	19-6	217.05	65.65	9,781,000
8-6	188.87	57.13	7,769,000	14-11	198.86	60.15	9,022,000	19-7	216.93	65.62	9,777,000
8-8	188.60	57.05	8,386,000	15-A1	147.46	44.60	5,350,000	19-8	216.96	65.63	9,975,000
9-4	206.65	62.51	9,376,000	15-A2	151.09	45.70	※	20-4	212.13	64.16	8,982,000
11-2	247.49	74.86	10,180,000	15-A3	148.08	44.79	※				

【ひたかみ住宅公園宅地分譲概要】●所在地／北上市里分7地割1番1他 ●交通／JR東北本線北上駅東口徒歩20分(1,600m) ●開発面積／53,716.35m²(1工区14,649.11m²、2工区39,067.24m²) ●開発行為許可番号／岩手県知令南広土第285号(平成20年7月4日) ●総区画数／161区画 ●販売区画数／宅地分譲78区画 ●区域／北東に都市計画区域内・内地目／宅地・用途地域／第1種低層住専用地域●建へ4率／50% ●容積率／80% ●設備／上・下水道・公共上下水道・電気・北電力・ガス・個別プロパン・集合使用地目・宅地内公団公園所持地・道路・9m・6mアスファルト舗装●造成工事完了後●道負担／なし ●売主／株式会社中央開発 ●取引条件の有効期限／平成24年3月末

皆さまの生活、明日へ向かってできる限りのこと。

事業主体 株式会社中央開発

0120-63-2610

〒024-0091 岩手県北上市大町2-24(北上市役所前) TEL0197-63-2610(代)・FAX0197-64-2023

宅地建物取引業者登録番号／岩手県知事(9)第1205号・(社)岩手県宅地建物取引業協会会員。

東北地区不動産公正取引協議会加盟事業者(イーアールエー・ジャパン)ネットワーク加盟

ひたかみ住宅公園

ひたかみ住宅公園 検索

http://www.hitakamipark.com/



※取扱い撮影、制作など本誌を購成してございました皆様に厚く御礼申し上げます。※掲載されている情報は、2012年4月29日現在のものであります。発行時の情報変更につきましてはご了承ください。※このフリーマガジンは震災からの復興支援広報事業によって発行されています。※発行部数は報道事業者

企画・編集／株式会社ラヂオむちゅう デザイン／冬部幸治(創造団体志庵) 印刷／山口北州印刷株式会社 Special Thanks 取材・制作にて協力いただいた皆様

東北地区不動産公正取引協議会加盟事業者(イーアールエー・ジャパン)ネットワーク加盟